

平成20年度第3回教育学習支援チーム会議 議事録(案)

日時:平成21年3月3日(火)10時00分から12時00分

場所:福井キャンパス管理棟特別会議室

小浜キャンパス海洋生物資源学科棟テレビ会議室

出席(敬称略) 交野、山川、菊沢、新宮、廣瀬、日び、木元、本田、亀田、事務局(江守、田中、宇都宮)

欠席(敬称略) 塚本、水田、近藤

前回議事録(資料1)の確認 訂正なく承認された。

議事

1. 2008年度FD事業について

(1) 授業評価について(資料2)

- ・資料に基づき、前後期の実施状況が説明された。
- ・参加科目数や回収数は前年どおりか、やや多い。
- ・後期の集計結果が未だ公表されていない。調査終了後も五月雨式に回答用紙が一部教員より提出されることが原因ということがわかった。
- ・この点について議論の結果、「アンケートは学生が回収するものであり、特別な事情がなければ授業評価実施期間後に教員から提出される結果は対象外とする」として今後は受け付けず、処理しないこととした。
- ・非常勤教員が(大学全体の)授業評価結果を学外からネットで見たいとの申し出があった。
- ・授業評価結果は学内専用サーバにおかれ学外公開していない。非常勤教員控え室にネット端末が用意されていることと共に、調査依頼時に、学内からみて頂くように案内文を添えることとした。

(2) 授業公開について(資料3)

- ・資料に基づき、前後期の実施状況が説明された。
- ・公開科目は一覧に示す23科目のほか、学術教養センターの154科目と看護福祉学部の1科目が随時公開。
- ・随時公開科目の参観者は、FD委員以外では少なかった。
- ・随時科目以外でも参観者数が少ないコマがいくつかあり、改善策を求めて次のような議論があった。
- ・経済学部では、公開者が参観者を指名する「指名公開」や、関連教科グループのなかでの公開を取り入れる案が検討されている。
- ・学術教養センターは、ほぼ全科目の随時公開を導入したが、参観者が一部に偏っている点を考え、経済学部案などを取り入れてみるのもよいのではないか。

(3) 学内外の研修について(資料4)

- ・資料に基づき、学内外の実施状況が説明された。
- ・学内研修は活発である。今後は、さらにFD委員が関係しない研修会も、内容がFDに関係していれば案内(公開)することにした。
- ・経済学部では、教員が学生の動向について話し合う教員集会(20名参加)を実施したことが報告された。
- ・結果は冊子としてまとめているが、重要な点をFD委員を通じて教授会等で教員に紹介すること、またこの企画は、全学規模でやるのがよいとの意見があった。
- ・学外研修は、4件、年度末までの分を含めて6件と、参加者が少なく、また一部に偏っている。京都で毎年開催されるFDフォーラムなど、身近なところにてできるだけ多くの教員が1度は参加する、など工夫する必要がある。

(4) 決算報告について(資料5)

- ・資料に基づき、FD予算執行状況について説明された。
- ・学外研修件数や外部の講師をよぶ講演会件数が少なく報償費と旅費が相当未消化である点について議論した。
- ・(コンテンツ作成サポートなど)教育改善活動の支援事業に今後予算を使えないか、との意見があった。

- ・これに対して、必要な経費を新たに要求するほうがよい、その場合総額規制があったとしても、授業評価方法を変える中で集計経費を軽減して対応できる、等の議論があった。
- ・学外研修そのもののあり方を、2010年度の予算要求までに考えることとした。
- (5)「ファカルティ・ディベロップメント報告書2008」の作成について(資料6)
- ・資料の作成案について説明がなされ、執筆分担を確認、了承した。
- ・1次原稿執筆期限は3月23日(月)12時とし、その後全体編集と印刷を行う。3月31日発行にこだわらないが、早期発行に努力する。
- ・発行部数は、少し余裕をみて300部とする。
- ・表紙に好適な授業やイベントの写真があれば提供する。

2. 2009年度事業計画について

- ・授業評価はこれまでどおり実施する。ただし、授業評価方法に関する懸案の事項(経費、回答者の負担、質問が多くマクロに傾向をつかみにくい、授業ごとに質問を変えるなど柔軟性にかける、授業中にフィードバックがかからない等)について、2009年度に検討し2010年度から実施できる準備をする。
- ・授業公開は、従来どおり部局の方式で実施する。ただし、上記議論を踏まえて、より多くの教員が参観する工夫をこらすこと。
- ・学外研修は、2009年度も同じ予算額である。2008年度が低調であったので、上記議論を踏まえて工夫する。
- ・学内研修は、2008年度同様に実施する。
- ・学内外の研修は、この2年くらい部局単位で企画実施する傾向にあるが、全学企画と部局ごとの企画を半々くらいにしてはどうか、との意見があり、その方向で来年度会議で計画実施することにした。

3. 教育の情報化事業について(資料7)

- ・山川委員より、戦略的大学連携事業の概要とこの半年の成果報告があった。
- ・プロジェクトと本チームが目指すところが同じであることも多いので、協力関係をもって進めて欲しいとの提案があり、了承された。
- ・大学連携事業のFDチームがFD講演会を行っている。2009年度からは遠隔TV装置も整備されるので、他大学で実施されるFD講演会(県外から講師を招待など)も利用するよう呼びかけることにした。

4. その他

(1)21年度の委員について

チーム長より、「他の委員会業務を受ける等の事情もあると思うが、なるべく継続してほしい」旨のお願いがあった。